



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 岡野 友宏
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www10.showa-u.ac.jp/~denthp/index.html>

たかが乳歯、されど乳歯

障がい者歯科 科長 佐藤 昌史

今月から当院の4階東診療室にある小児歯科・障がい者歯科に受診いただいている患者さまやご家族の方には診療室の改装工事にともない、小児歯科3階、障がい者歯科1階の診療室にご案内することになり何かとご不便をお掛けし申し訳ありませんがご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

さて、私どもは日頃から成長期のお子様達を拝見させて頂いておりますが、歯の抜け替わりほどダイナミックに成長の変化が起こるところは身体の他の部分にはないのではないのでしょうか。もちろん毛髪や爪など目に見えて伸びたり抜け落ちたりする現象は、成人になっても日常みられます。歯の交換は他の動物にもみられますが、哺乳動物の多くは成長期に1度だけ交換する二生歯性とされています。ヒトでは前から5番目までの乳歯が6歳から12歳頃までの間に永久歯に順次交換し、その間に6番目以降の歯は大臼歯として奥に新しく歯並びの列に加わって生えてきます。なぜこのように乳歯と永久歯が生えかわる必要があるのでしょうか。ご存じのように乳歯は永久歯に比べると小さく、幼児期のまだ小さな顎にはマッチしているのですが、体とともに顎も大きくなりより多くの食物を摂取するためには不都合です。体の大部分の組織は増大して成長しますが、残念なことに歯は一度、形が完成してしまうと大きくなることはありません。したがって乳歯から永久歯へとパーツそのものを交換する必要がある訳です。交換の時期は歯の種類によって概ね決まっております。乳歯の下の骨の中に育っている永久歯の芽(歯胚)の準備がある程度整うと口の中に向かって移動を開始し少しずつ上にある乳歯の根を溶かし始めます。根が短くなるにつれ乳歯は揺れが大きくなり最後には永久歯に押し出されるようにして抜け落ちていきます。これがスムーズにいかない時は歯科へご

相談頂くこととなります。

時々、お子さまにムシバができるとお母さまから「この歯は乳歯ですか?永久歯ですか?」と質問されます。「これは乳歯ですよ。」と言うとホッとされます。どうしても乳歯は永久歯に比べて存在感が薄く軽く見られがちですが、乳歯はいちばん心身の発育が著しい乳幼児期に重要な役割を担っています。この時期はよく噛んで食べるという食生活の基本の習得だけでなく、発音などの様々なお口の機能にも関わっています。また、将来に生えてくる永久歯の生え方や配列にも一役かっており、乳歯を健康に保つことは本来生えてきた永久歯がきれいに並ぼうとするからだの仕組みを十分発揮することにもなります。

日本では役目を終え抜けた乳歯を縁の下や屋根上に投げてよい永久歯が生えるよう願う習慣があります。外国では抜けた乳歯を枕の下に入れて寝ると、夜中に妖精が歯を持っていき朝にはコインが置かれているそうです。またある国ではわが子の抜けた乳歯を一つずつ大切にしておいて結婚するときにそっと渡す習慣があるという話を聞きました。何れにしても歯の生え替わり現象を通じて健やかな成長を願い喜ぶ親の気持ちには違いはないのでしょうか。

今月号の「歯科医療最前線」では永久歯がうまく生えてこない事に関する小児歯科の記事です。どうぞ一読頂ければ幸いです。



障がい者歯科 紹介

障がい者歯科は脳や筋肉の疾患のために身体の不自由な方、知的障がいや自閉症などの発達障がいのためコミュニケーションがはかれず治療への理解や協力が困難な方、先天的な疾病をお持ちの方など、治療に特別な配慮や工夫を必要とする方々を中心にご利用いただいています。そのため患者さま一人一人に対し一般的な診療時間より長いお時間をお取りします。よくお話を伺いながらご相談のうえ、患者さまやご家族の状況に適した治療方法を提供できるよう努力いたします。診療を拒否される方には、その理解力に応じてトレーニングを行います。その際患者さまの全身状態やお口の中の状況に合わせて、当院の歯科麻酔科と連携して静脈内鎮静(点滴からリラックスできるお薬を流しながら治療を行う方法)や、入院して頂き全身麻酔のもと、多数の歯の治療を一度に行うこともあります。歯科治療終了後は定期的な健診にご来院頂くことで、健康なお口の状態の維持管理に努めてまいります。

お口はお体の入口であり、お口の健康は心身の健康の基本です。私達は患者さまの障がいやお口の状況に合わせたケアや予防法などもアドバイスしてまいりますので、何かございましたらお気軽

にご相談、ご利用下さい。

なお、診察に関しましてはお時間や準備を要する場面が多いため、基本的に予約制とさせていただきます。特に初めての受診をご希望の際は、待合室で患者さまの不安や緊張を大きくさせないために、できるだけお待ちになる時間の短縮に努めておりますので予めお電話でご予約いただきますようご協力お願い申し上げます。

(障がい者歯科 船津 敬弘)

予約窓口:障がい者歯科受付

電話 03(3787)-1151 代表

受付時間 月曜～金曜:8:30～17:00

土曜:8:30～13:00



静脈内鎮静下での
外来治療



全身麻酔下での
集中治療

歯科衛生士室 紹介

昭和大学歯科病院には現在33名の歯科衛生士がおります。患者さまの診療や口腔疾患の予防に役立つように、歯科衛生士の資格とともに各種の専門認定を受けています。例えば歯周病、治験コーディネータ、障がい者、摂食嚥下リハビリテーション、美容歯科関連、在宅訪問歯科などです。

私たち歯科衛生士の役割は、主に診療室での補助や介助業務、病棟や訪問での口腔衛生管理業務を行っています。また、歯科衛生士も多職種連携チームの一員としてチームに参加し、患者さまのお口の健康を回復するためにサポートいたします。最近の傾向として、従来から行っていました歯科疾患(むし歯、歯周病)の予防以外に、手術前、手術後、入院期間中、またはリハビリ中の

患者さまの口腔衛生管理にも、定期的に携わるようになりました。6月の「歯の衛生週間」には、歯科衛生士室で作製した番組を1階総合受付のテレビで放映しています。内容は「お口の健康」に役立てていただけるように「リーフレット」に作り直しお配りしています。お口の健康についてのご質問などは各診療科の歯科衛生士にお尋ねください。

(歯科衛生士室長 日山 邦枝)



研修風景



永久歯の萌出遅延ってなんだろう?と思うことと思います。通常、乳歯が生え、交換時期がきて脱落(乳歯の生えかわり)し、順々に次の永久歯が萌出てきます。ところが、生えるはずの永久歯が生えてこなくなることがあります。その原因としては、顎の中に病気(良性の腫瘍、嚢胞(のうほう)、過剰歯など)ができていたり、歯の生える場所のスペース不足などがあります。永久歯の萌出が遅くなると、その永久歯自体の歯根が彎曲し(図1)ますます生えにくくなり、病気が大きくなって隣にある永久歯の歯の根を吸収し障害してしまいます(図2)。

そのため、もし同年齢のお子さんが大人の歯は生えているのに、自分のお子さんの大人の歯の生えかわりが遅いと思った場合には、早めに歯科医院にいった検査をしてもらうことをお勧めします。特に小学生や中学生になると保護者の方がお子さんの後磨きをしなくなる時期なので永久歯の萌出遅延に気が付かずにいることもあるので、少なくとも1年に1回は歯科医院に定期的に検診を受け早期に治療を受けられるようにするとよいでしょう。



図1 12歳の男子
7)部の腫瘍のため生えてこない。
歯根は下歯槽神経に巻きついていた。



図2 12歳の女子
3)3部の嚢胞のため2)1)2の歯根が吸収した。

今回は、特に第一大臼歯の萌出遅延の治療について書かせていただきます。第一大臼歯は、いわゆる6歳臼歯で6歳ごろに生える歯です。第一大臼歯

より後ろの奥歯は、乳歯が先に生えていない場所に生えてくるので、萌出遅延に気が付きにくい場所です。しかし、第一大臼歯は、永久歯列(大人の歯列)になった時の咬みあわせで一番鍵になる歯なので、特に重要な歯です。第一大臼歯は6歳ごろに生え、歯の根は9~10歳ごろにできあがります。歯は歯根ができあがる前に萌出遅延を診断できれば、早く、簡単な治療で治すことができます。しかし、歯根ができあがった9歳以降に発見されると、歯根が曲がったり、本来歯が萌出すべき方向とは違う方向に傾いてしまうことがあるので、複雑な治療法や、治療期間も長くなってしまったり、時にはその歯自体を抜かねばならなくなります。

まず、第一大臼歯萌出遅延の発見のポイントとしては、6歳になっているにも関わらず、第一大臼歯の萌出が見られず、第二乳臼歯(乳歯の一番奥歯)の後ろの歯槽堤(歯肉の部分)の幅が細い場合(図3-1)は、萌出遅延している可能性が高いのでレントゲン検査受けましょう(図3-2)。レントゲン検査で病気が発見された場合、第一大臼歯部の上の病気を取ります。これまでは、その歯を針金で引っ張りださなければならなかったのですが、歯の上にスーパーボンド®(歯の接着剤)で矯正用の金属のボタンを付け(図4)、第一大臼歯が萌出しやすいように開窓状態(歯肉に歯が萌出しやすいように穴を開けた状態)にすると歯は萌出する(図5)ことができます。ただし、この治療した後、保護者の方の協力が不可欠となります。第二乳臼歯より奥の深いところに歯が生えるまでの期間、開窓状態を保たねばなりません。また、手術の後なので痛みがあるため、お子さんも歯ブラシで触られるのもいやがります。しかし、手術した部位は第二乳臼歯より奥の深い部分なので食べ物のカスがたまりやすくそのままにして不潔な状態が続くと顎の炎症を引き起こすので、感染させないようにしなければなりません。手術後のケアは、まず、食事の前に奥の穴の部分に抗菌薬の軟膏を塗り食べ物のカスが詰まらないようにします。食後は奥の歯に届きやすいように、先の細い歯ブラシ(ワンタフトブラシ)を用いて磨いてもらい(図6)、うがい薬で洗浄し再度抗菌薬の軟膏でその

穴を塞(ふさ)いでもらいます。そのケアが悪いと周りの歯肉が炎症を起し、再度硬い歯肉に覆われ、再度手術が必要になることもあります。よってこの治療が成功するかどうかは家庭での口腔ケアにかかるので、万が一、第一大臼歯の萌出遅延の治療を受けた場合にはご協力をお願いいたします。

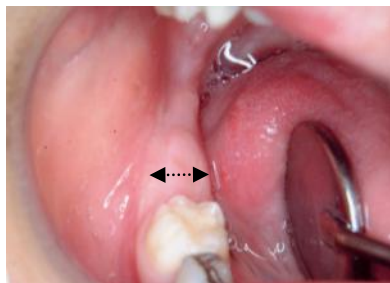


図3-1: 7歳4か月の男児
上顎部の歯槽堤の幅、高さが低い。



図3-2: 7歳4か月の男児
上顎上部に腫瘍があり歯が埋まっている。



図4: 7歳の男児
上顎上部の腫瘍摘出し矯正用のボタンを付けて開窓状態にした。



図5: 術後5か月(図3-2の男児)
上顎は腫瘍摘出後萌出してきている。



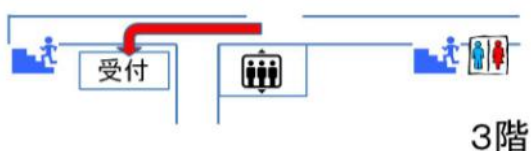
図6: ワンタフトブラシでのケア

小児歯科・障がい者歯科の外来診察室が一時的に変更になりました。

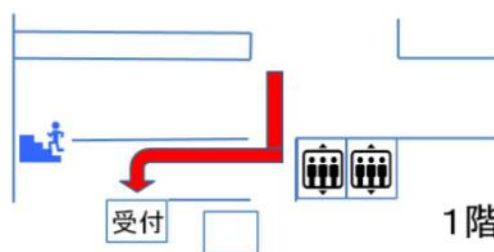
小児歯科・障がい者歯科外来診察室の改修工事に伴ない受付の場所が変更になっています。ご迷惑をお掛けしますがご協力宜しくお願いします。

改修工事期間: 平成24年3月3日(土)まで
(管理課)

小児歯科受付 → 3階 東受付



障がい者歯科受付 → 1階口腔リハビリテーション科受付



口腔リハビリテーション科受付の入口が変更になりました。

編集後記

東日本大震災から早くも一年が経とうとしています。昭和大学では他大学に先立ち、岩手県山田町において震災直後から一か月間に渡り、多医療職から成る大きなチームで医療救援活動を行ったことは昨年本紙で、お伝えしました。その後もチャリティ講演会による募金活動とかボランティア活動とかを続けています。わずかばかりですが、口腔リハビリテーション科も講演による募金活動、被災地における無料講演活動を予定しています。

被災地の一刻も早い復興を心から願っております。

(K.T)